

■稀有な存在■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 124 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

124 目次

1. ブログから：稀有な存在
2. 今週のお知らせ：「コスタリカの奇跡」上映会
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

.....

1. ブログから：稀有な存在

今週の金曜日、「コスタリカの奇跡」という映画の上映会に行く。ご存知の通り、コスタリカは 1948 年に軍隊を廃止し、軍事予算を社会福祉に充て、国民の幸福度を最大化する道を選んだ中米の小国だ。その奇跡に迫ったドキュメンタリー映画を見る機会がやっと訪れた。世界には集団安全保障体制に加盟していたり、特定の国に防衛を依存することなく軍隊を持たない国がいくつか存在するが、具体的にはバチカン、リヒテンシュタインなどの極小国や、ハイチ、ソロモン諸島、ツバル、バヌアツ、モーリシャスなど小島国家、そしてアメリカの介入によって軍隊が解体されたパナマなどで、コスタリカのように自ら軍を解体した国家は稀有な存在だ。僕はこの「稀有な存在」であることに興味を持つ。本当は映画を見てからと思ったが、あえて見る前に僕の興味を説明したい。

Goo 辞書によると、稀有とは次のような意味を持つ言葉。

- 1 めったにないこと。とても珍しいこと。また、そのさま。まれ。
- 2 不思議なこと。また、そのさま。
- 3 とんでもないこと。けしからぬこと。
- 4 (「希有の命」の形で) 危うく死を免れること。

これって、まさに「日本」のことを指していると思えること。そして、僕自身がそんな存在になりたいと願っていること。つまり、「稀有な存在」は僕と社会をつなぐ大切なキーワードだ。

第1に、日本は「とても珍しい国」だと僕は思う。「東洋のガラパゴス」とは決して自虐的表現ではなく、イギリス中心の世界地図を見れば、本家ガラパゴス諸島と我が日本列島が東西の辺境にあることは明白だ。世界の端に位置することは稀有になる要因でもありそれを維持する理由ともなる。言語などの文化が入ってくることはあっても、さらに伝える先はない。どんなに珍しいことでも、それが伝搬して広がれば珍しくなくなってしまう。つまり稀有とは、他に影響を及ぼさず稀有であり続けることを意味している。だが、情報ネットワークで結ばれた現代社会において、稀有な存在こそが情報の発生源となる。近年外国人観光客が急増しているのは、日本の情報発信がうまくいったのではなく、日本で発生する情報を世界の人々が拾えるようになったからだと僕は思う。自分自身も発信上手になる前に、発生源になりたいと僕は思う。

第2に、日本は「とても不思議な国」。日本流が普及しないのは辺境や行き止まりという理由だけでなく、不思議で理解しにくいためでもある。実際日本の社会は理解しがたい矛盾の塊だ。世界に例を見ない経済成長を遂げた国なのに、その生産効率は低い。テロ組織ややくざの先進国なのに安全で治安が良い。GDPの2倍も借金があるのに国民は平然と暮らしている。その他にも核や原発、軍備、食糧、エネルギーなど世界標準からかけ離れた社会のバランス感覚は、不思議なことばかりだ。しかしこれらはすべてが関連して一つの全体をなしている。そして僕たちすべての日本人が、その不思議を抱えて生きている。僕自身、自分が何を考え目指すのか、底知れぬ不気味を感じることもある。それは次の話にも関係していく。

第3に、日本は「けしからん、とんでもない国」なのかもしれない。僕は「日本は唯一の被爆国」という言葉をよく耳にするが、その意味を深く考えたことがあまり無かった。ところが、先日テレビの議論を聞いていて愕然とした。それは、「核抑止力」の有効性を最も顕著に表しているのが日本とイランだという話。核攻撃を受けた国がどうなるかは日本を見ればよくわかる、そしてアメリカの武力によってイラクとリビアの政権が滅ぼされたのにイランが無事でいられるのは核武装のおかげだというのだ。だからと言って、北朝鮮の金正恩を擁護する気は毛頭ないが、戦後の歴史を振り返ったとき、こうした見方を否定するのは難しい。憲法で「一切の武力行使を放棄」しているはずの日本が、被爆してなお否定できないことこそ、核軍備を正当化する最大の根拠となっていないだろうか。

そして第4に、日本は「危うく死を免れた」国であること。会社倒産を経験し、30億の個人債務を抱えて生き延びた僕には、その意味が少しわかる。生き延びたことに対する感謝の気持ちと自信のような気持ちのどちらもが、とてつもなく大きくて比較できない。普段は感謝の気持ち先に立ち、底なしの謙虚さをもたらすが、自信の気持ちが沸きあがったら最後、傲慢な自分を抑えることができなくなる。周辺国から見た日本は、謙虚なふりをした傲慢国家なのではないかと僕は内心思っているのは、それは僕自身にも当てはまることだから。だがその本質は「稀有」ということが先に立ち、その陰に隠れて目立たない。「けしからん」よりも「不思議とか珍しい」が目立っているだけのことではないだろうか。

「コスタリカの奇跡」は、残念ながら世界に平和をもたらすには至っていない。だが、僕がこの映画に期待するのは、「日本がやりたくてもできずにいることを、やり遂げた国を見せてくれること」と、「今、日本が何をなすべきかを気付かせてくれること」の2点だ。そして同時に、この2点は僕自身が強く求めていることでもある。映画を見る前に、その意気込みを語るなんて、今日は不思議な文章を書いてしまった。

.....

2. 今週のお知らせ：「コスタリカの奇跡」上映会

エシカルシアター@かまいキッチン

かまいキッチンのアットホームな雰囲気の中で
夕ご飯しながら、映画を見ませんか？
今回は「コスタリカの奇跡」です

1948年に軍隊を廃止し、軍事予算を社会福祉に充て、国民の幸福度を最大化する道を選んだコスタリカの奇跡に迫ったドキュメンタリー。

https://www.cinemo.info/movie_detail.html?ck=48

こどももオトナもみんなでみて、感想をシェアしましょう。
夕ごはんには、その映画にあったメニューをご用意する予定です。

9/15 Fri 18:00 OPEN 18:30 上映開始 (20:00 終映予定)

20:00~21:00 感想シェアタイム

料金：オトナ (中学生以上) 1000円 + 1オーダー
小学生以下無料

以上、<https://www.facebook.com/events/2163980480495216/> より転載

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

- ・日程 9/14,28 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館
- ・その他会場募集

まつむら塾を開催させていただきる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質問を受け付けます。
初回無料、月額3,000円~承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 9/11 ◎なのに作業日 青葉台で面談可

(火) 9/12 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

15-17時 ★日本土地資源協会 経営会議

17-19時 ★笑恵館クラブ理事会

(水) 9/13 ◎なのに作業日 午前中青葉台で面談可

(木) 9/14 ○作業日 終日、笑恵館で面談可

18-21時 ★まつむら塾 (笑恵館)

(金) 9/15 ○作業日 午後から笑恵館で面談可

18-21時 「コスタリカの奇跡」上映会

<https://www.facebook.com/events/2163980480495216/>

(土) 9/16 ○作業日 終日、笑恵館で面談可

(日) 9/17 ○休業日

■その後のイベント

9/19 16-18時 ★笑恵館を学ぼう

9/19 18-20時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

9/24 10-15時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 9月例会

9/26 17-19時 ★笑恵館クラブ運営会議

9/28 18-21時 ★まつむら塾 (笑恵館)

10/06 19-21時 ★第23回 解決しゃべり会

10/12 15-17時 ★日本土地資源協会 経営会議

10/12 17-19時 ★笑恵館クラブ理事会

10/12 18-21時 ★まつむら塾 (笑恵館)

10/13 19-21時 ★カップラー起業交流会(三茶)

10/19 13-16時 ★ニッチ大学

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>